


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

自分で判断して選ぶことができるようにするための ICT 活用 「アプリ『PowerPoint』を使った写真の提示とタッチによる入力」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・小学部 4年
	障がい名等	肢体不自由・知的障がい（重複障がい）
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肢体不自由があり車いすやバギーで移動している。 ・ 教師の支援を受けながら、腕を動かし目的の場所に触れることができる。
授業について （教材・教具を使用した授業や指導場面）	教科名等	国語
	単元(題材)名	単元名「これだあれだ？」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの写真やイラストが示されたタブレット端末を見ながら、教師の指示した方に注目し、手を伸ばして触れることができる。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>タブレット端末を使った写真の提示とタッチによる入力</p> 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 選択肢の中から、自分で判断して選ぶことができるようにする。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視野に入るよう、大型モニターにタブレット端末の画面を映し、友達の操作画面が見られるようにした。 ・ 教師の指示した方の写真・イラストをタッチすると音楽や映像が流れるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、Microsoft PowerPoint、大型モニター
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末をタッチすることで音声や音楽が流れるということを理解し、繰り返しタッチしようとする姿が見られた。 ・ 繰り返し提示することで、何かが起きる期待感をもち、自分から手を伸ばそうという自発的な動きを引き出すことができた。 	

(令和3年度)